

環境NGO 来年のカレンダーで支援

環境分野で活動する国際NGOを応援しようと、風力発電や太陽光発電事業を展開する中部電力の子会社「シーテック」（名古屋市瑞穂区）と、NPO法人「名古屋NGOセンター」（同市中区）が協力して、来年のカレンダーを作った。カレンダーで紹介しているホームページ（HP）を見た閲覧者が、ボタンをクリックするたびに、シーテックがNGOに寄付をする仕組みになっている。

全6号。ベトナムでのマンガロープ



来年11、12月はフィリピンの子どもたちを支援する「CAN」（アイキャン）を紹介する



シーテック、HP閲覧で寄付

植林活動に取り組むNGO「南遊の会」（中区）や、ニカラグアでのソーラーパネルの設置や子ども、女性の社会進出を支援する事業に取り組むNGO「ニカラグアの会」（中村区）など6団体の活動が写真で紹介されている。

同社のHPに募金のボタンがあり、クリック1回につき10円をシーテックが寄付する。資金は6団体に配分され、活動に役立てられるという。上限額は2万円だが、それを超えても来年12月15日までクリック数はカウントされる。

シーテックの担当者は「NGOの活動に触れてもらえる機会はいくつもない。カレンダーを通じて紹介し、少しでも手助けになれば」と話している。作製したカレンダー5千本のうち、50本を国内の希望者に無料で送付する。申し込みは同社HP（<http://www.techcorp.co.jp>）で。

（煙索太郎）